7　賃貸等不動産に関する事項

本学は賃貸不動産として寄宿舎等を有しております。これらの貸借対照表計上額、当期増減額及び時価は次のとおりである。

貸借対照表計上額			当期末の時価
前期末残高	当期増減額	当期末残高	
2,267,831千円	△ 49,996千円	2,217,834千円	2,520,984千円

（注１）　貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額（損益外減価償却累計額を含む）を控除した金額である。

（注２）　当期増減額は、減価償却による減少額である。

（注３）　当期末の時価は、主として適正に市場価格を反映していると考えられる指標に基づく金額、償却資産については、適正な帳簿価格による。

また、賃貸等不動産に関する平成26年３月期における収益及び費用等の状況は次のとおりである。

賃貸収益	賃貸費用	その他（売却損益等）
45,385千円	72,880千円（39,825千円）	―

注）　「賃貸費用」の（　）は損益外減価償却相当額であり、内数である。

8　資産除去債務に関する事項

⑴　資産除去債務の内容

石綿障害予防規則に基づくアスベスト除去費用

⑵　支出発生までの見込期間、適用した割引率等の前提条件

見込期間１年

なお、今期に計上した資産除去債務については、貸借対照表日後、１年以内に履行を予定しており、割引計算をすると、見積金額全体に占める利息金額に重要性が乏しいため、割引計算を省略しています。

⑶　資産除去債務の総額の期中における増減内容

期首残高	11,750千円
時の経過による増加額	13千円
資産除去債務の履行による減少額	△11,764千円
その他増減額	5,901千円
期末残高	5,901千円

9　重要な後発事象

該当なし。

附　属　明　細　書

⑴　固定資産の取得及び処分、減価償却費（「第84特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第89資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）並びに減損損失の明細

（単位：千円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘要
							当期償却額		損益内	損益外		
有形固定資産（特定償却資産）	建物	22,810,298	1,994,846	405,873	24,399,271	8,282,334	816,516	―	―	―	16,116,937	
	構築物	1,743,549	37,413	15,964	1,764,999	844,298	81,476	―	―	―	920,700	
	機械装置	29,143	―	―	29,143	28,870	1,279	―	―	―	273	
	工具・器具及び備品	1,171,276	226,534	8,944	1,388,866	1,044,348	83,773	―	―	―	344,517	
	船舶	152	―	―	152	152	―	―	―	―	0	
	計	25,754,421	2,258,795	430,783	27,582,433	10,200,004	983,045	―	―	―	17,382,428	
有形固定資産（特定償却資産以外）	建物	984,561	148,936	16,937	1,116,561	257,870	59,024	―	―	―	858,690	
	構築物	220,928	2,322	1,989	221,261	76,175	15,161	―	―	―	145,085	
	機械装置	16,288	―	―	16,288	7,289	2,890	―	―	―	8,998	
	工具・器具及び備品	4,487,861	457,667	44,217	4,901,311	3,477,355	716,058	―	―	―	1,423,956	
	図書	4,482,015	27,831	44,672	4,465,175	―	―	―	―	―	4,465,175	
	船舶	4,842	―	―	4,842	4,714	627	―	―	―	127	